

土
赤
伸
生
さん

近
藤
葉
子
さん

行動力と
笑顔が大事！

認知症に
なっても、
わたしは、私！



私たちが、第二期 認知症希望大使です！

認知症とともに、いきいきと暮らせる社会を目指して。

認知症に対する理解を広く深めるため、
私たちが認知症のことを発信していきます。



〔愛知県認知症希望大使〕

認知症の方で本人が自らの体験や将来の希望について語ることや、地域でいきいきと活動する姿を通して、認知症に対する理解を広く深めるとともに、多くの方々に元気を与えます。



認知症になると、何もできなくなってしまうませんか？

愛知県認知症
希望大使

日々の生活で困ったり、落ち込んだりすることもあります。日常生活における工夫や、地域社会とのつながりにより、希望を持って暮らすこともできます。

愛知県認知症希望大使とは

認知症の正しい理解を広めるため、2021年7月に、愛知県が2名の認知症の方ご本人に委嘱したものです。2024年4月1日には2期目の大使の委嘱を行いました。

どんな活動を
するのか？

- 認知症カフェや本人交流会等への参加
- 認知症の方ご本人やご家族への支援活動への参加
- 認知症の理解を深めるためのイベントや研修等での講演 など

大使には「認知症に理解の深いまちづくり」に向けて、
「認知症とともに生きる」姿を発信していただいています。

第二期愛知県認知症希望大使の紹介



認知症になることは
特別なことではありません。
認知症になっても
私はわたしだから。

近藤 葉子 さん

51歳の時、若年性アルツハイマー型認知症と診断されました。2020年12月に愛知県が制作する認知症普及啓発動画に出演し、2021年7月から愛知県認知症希望大使(第一期)として、県内市町村での講演活動や認知症カフェ、本人交流会への参加等、多方面で活躍されています。



楽しむことが
大事だと思っています。
そうすると色々なことが
もっと良い方向にいくと
思っています。

土赤 伸生 さん

長年、製造業の仕事に従事し、58歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断されました。診断後も就労を継続して、60歳でいったん退職後も再雇用で2年間就労を継続しました。現在は認知症本人の集いの場に積極的に参加し、仲間と交流をしながら自身の思いを伝えています。

愛知県認知症希望大使PR動画

大使のご紹介に加え、

- 大使を志望した理由
- どのような活動をしていきたいか
- 今、伝えたいこと

など、大使自ら発信していただきました。

大使の紹介や

動画はこちらから確認できます▶

愛知県認知症希望大使

検索



活動紹介

大使は、これまでも、これからも様々な場所で
地域の方々と関わっていきます！

地域での交流(名古屋市瑞穂区)

図書館で、大使の土赤さんから日々感じていることや生活の工夫などについてお話をいただきました。

〈参加者〉

土赤さんの前向きな話が聞けて良かったです。悩みや工夫などを教えていただきました。

〈瑞穂区いきいき支援センター職員〉

土赤さんが認知症になってからのことを率直に話してくれたことで、多くの方が認知症の方の気持ちに寄り添うことができました。



地域での講演(稲沢市)

大使の近藤さんから自身の思いなどについてお話をいただきました。

〈参加者〉

近藤さんのお話しが、他のツールで学ぶより実のあるもので、学びが深かったです。

〈稲沢市職員〉

近藤さんは当日も終始笑顔で語る姿も優しく、内容もわかりやすかったです。生の声を届けることの大切さを実感しました。



高校生に対する講演

大使お二人による講演の後、生徒同士で「地域の一住民として自分たちに出来ること」を考え、グループ内で意見交換を行いました。

〈生徒からの感想〉

認知症になっても自分らしく楽しく人生を過ごすことが大切だと気づくことができました。認知症に対する暗いイメージが、本人の体験談を聞き、ガラッと変わりました。



一般の方向けイベント

「認知症県民フォーラム」において、大使のトークショーを行いました。

〈参加者の声〉

大使のお二人の明るさや前向きに工夫して生活されているお話に、想像していた「認知症」と違い驚きました。大使のお二人の明るさ、前向きさに感動しました。



認知症のこと、一人で悩まないで!!

認知症についての相談窓口

- ・**地域包括支援センター**
市町村が設置する高齢者の総合相談窓口です。
- ・**かかりつけ医**
もの忘れが気になり始めたら、
まずは身近なかかりつけの医師に相談しましょう。
- ・**認知症疾患医療センター**
認知症の専門医療相談・診断などを行う医療機関です。
詳細はウェブページをご覧ください▶
- ・**愛知県若年性認知症総合支援センター**
若年性認知症の方のニーズに合った
社会保障制度や関係機関につなぐ支援を行います。

☎0562-45-6207

開設日／月曜日から土曜日
(祝日、年末年始は除く)
開設時間／午前10時から午後3時



電話相談

認知症の相談について、
どなたでもどこからでもご利用いただけます。

☎0562-31-1911

開設日／月曜日から金曜日(祝日、年末年始は除く)
開設時間／午前10時から午後4時
運営／公益社団法人認知症の人と
家族の会愛知県支部

愛知県認知症電話相談

検索



ご本人、ご家族同士の交流

認知症の方ご本人やご家族の交流の場として、地域において様々な取組を実施しています。
詳細は、お住まいの市町村(地域包括支援センター等)にお問合せください。

- ・**認知症カフェ**
認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場です。
飲食しながらお話をしたり、体を動かしたりと、様々な認知症カフェがあります。
- ・**本人ミーティング**
認知症の方ご本人同士が主になって、自らの体験や思いを気兼ねなく語り合い、
これからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場です。
- ・**ピアサポート活動**
同じ症状や悩みを持ち、同じような立場にある仲間=英語で「Peer」(ピア)=が、互いに体験を語り合い、
支え合う取組です。

オレンジリングをご存知ですか?

～オレンジリングは、
認知症サポーターの目印です～

認知症サポーターとは認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る人です。認知症のサポートをするためには、まずは正しく「知る」ことが大切です。認知症サポーター養成講座は、市町村などで実施されていますので、ぜひお問い合わせください。受講者には、オレンジリングなどが配布されます。



リングをしている人を見かけると、
認知症の方はとても安心します!

お問合せ先

愛知県 福祉局 高齢福祉課 地域包括ケア・認知症施策推進室

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

[電話] 052-954-6310 [FAX] 052-954-6919

[メール] chiikihoukatu@pref.aichi.lg.jp